



子どもの声を受け止め、子どもを守るために何が必要か  
～スコットランドの子どもコミッショナーから学ぶ、  
子どもの権利を守るための取り組み～

日時  
場所

2019年12月17日 (火)

13:30開演 (13:00開場)、16:00終了

東京都港区赤坂1-2-2

日本財団ビル2F大会議室

200名様

先着順 無料

登壇者:

ブルース・アダムソン (Bruce Adamson)

スコットランド 子ども若者コミッショナー

奥山 眞紀子

日本子ども虐待防止学会理事長

平野 裕二

子どもの権利条約総合研究所 運営委員

佐藤 智洋

インターナショナル・フォスターケア・アライアンス  
ユースメンバー、社会的養護経験者

司会:

高橋 恵里子

日本財団 公益事業部 国内事業開発チーム チームリーダー



ブルース・アダムソン  
(Bruce Adamson)



スコットランド子ども若者コミッショナー  
(Children and Young People's  
Commissioner Scotland)

2019年(令和元年)は子どもの権利条約の成立から30周年、また日本が子どもの権利条約を批准してから25周年にあたります。一方で、悲惨な虐待事件やいじめ、子どもの自殺などの報道はあとをたたく、子どもをめぐる環境はむしろ厳しさを増しています。

日本の子どもたちが安全に育つ権利を守るためには、子どもの権利についての包括的な国内法の制定や、子どもの声を受け止めて政策提言を行うコミッショナーやオンブズマンなどの第三者機関が必要と考えられます。本シンポジウムでは、スコットランドの子どもコミッショナーのブルース・アダムソン氏を招聘し、子どもの権利を守るために必要な法制度や子どもコミッショナーの役割、日本への導入について議論します。日本でもすべての子どもの意見が尊重される社会を実現していくために、一緒に考えてみませんか。

※子どもコミッショナー／オンブズマン

子どもの権利と利益が守られているかどうかを監視し、子どもの代弁者として活動する子どもの権利擁護のための機関で、ノルウェーで1981年に制度化され、現在は60か国以上の国に設置されている。

お申し込み



日英同時通訳あり

